

子ども・子育て支援対策調査 特別委員会報告資料

令和7年4月24日

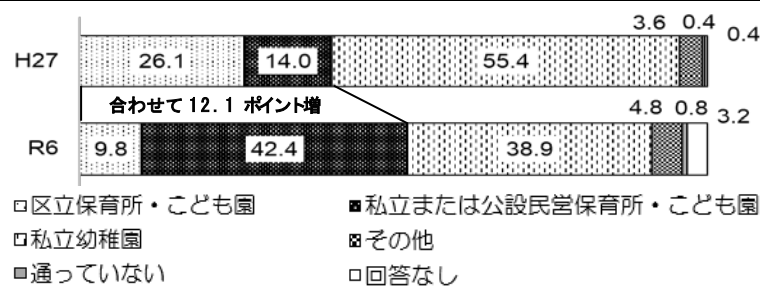
報告事項件名	頁
1 第2期第1回（令和6年度）「子どもの健康・生活実態調査」の実施結果 （概要）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 令和7年度の産後ケア事業における新規・拡充について・・・・・・・・・・	4

（衛 生 部）

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

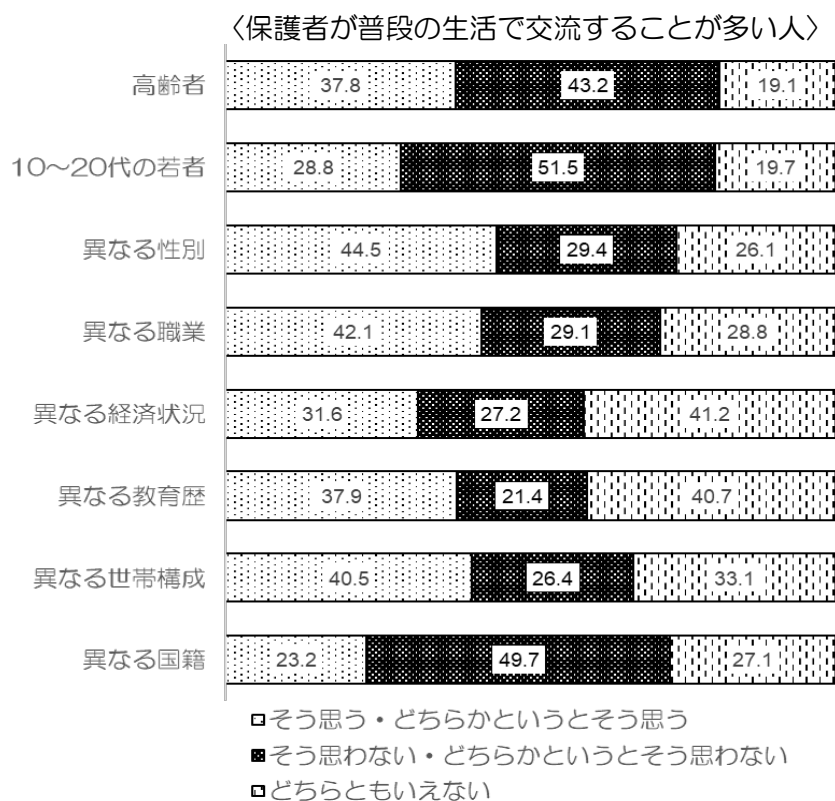
令和7年4月24日

件名	第2期第1回（令和6年度）「子どもの健康・生活実態調査」の実施結果（概要）について																														
所管部課名	衛生部こころとからだの健康づくり課、あだち未来創造室子どもの貧困対策・若年者支援課、教育指導部教育政策課、教育指導課、学校運営部学務課																														
内容	令和6年10月に実施した、第2期第1回「子どもの健康・生活実態調査」について、報告書【概要版】を作成したので報告する。 1 「第2期第1回（令和6年度）報告書【概要版】」 別添資料のとおり。 2 主な調査結果（【概要版】より） （1）調査開始当初の平成27年度と令和6年度の「小学1年生」の比較 ア 食べる順番 食事を野菜から食べている（ベジ・ファースト）子どもの割合も調査当初から <u>17.9ポイント増加</u>し、約3割となっている。 <table><caption>食べる順番</caption><tr><th>年度</th><th>野菜</th><th>それ以外</th><th>記入なし</th></tr><tr><td>H27</td><td>11.5</td><td>87.7</td><td>0.7</td></tr><tr><td>R6</td><td>29.4</td><td>70.3</td><td>0.3</td></tr></table> イ むし歯 調査当初と比べてむし歯のない子どもの割合は <u>19.5ポイント増加</u>し、令和6年度は80.9%となっている。 <table><caption>むし歯</caption><tr><th>年度</th><th>5本以上</th><th>3～4本</th><th>1～2本</th><th>なし</th><th>記入なし</th></tr><tr><td>H27</td><td>12.5</td><td>8.3</td><td>17.2</td><td>61.4</td><td>0.6</td></tr><tr><td>R6</td><td>3.8</td><td>4.1</td><td>10.5</td><td>80.9</td><td>0.7</td></tr></table> ウ 小学校入学前に通っていた施設 小学校前に通っていた施設は調査当初と比べると、保育所・こども園の割合が増加している。	年度	野菜	それ以外	記入なし	H27	11.5	87.7	0.7	R6	29.4	70.3	0.3	年度	5本以上	3～4本	1～2本	なし	記入なし	H27	12.5	8.3	17.2	61.4	0.6	R6	3.8	4.1	10.5	80.9	0.7
年度	野菜	それ以外	記入なし																												
H27	11.5	87.7	0.7																												
R6	29.4	70.3	0.3																												
年度	5本以上	3～4本	1～2本	なし	記入なし																										
H27	12.5	8.3	17.2	61.4	0.6																										
R6	3.8	4.1	10.5	80.9	0.7																										



(2) 保護者についての新規質問（普段の生活における交流の多様性）

保護者の仕事上も含めた普段の生活の中でどのような特徴を持つ人々と交流があるかについて調査した。



この結果と他の項目をあわせて分析し、「保護者が6つ以上の特性の人々と交流がある場合に、子どものレジリエンスが高くなる可能性がある」ことが今年度の調査で見えてきている。

3 報告書（本編）について

引き続き集計結果分析を続け、より詳細な調査結果がまとまり次第、区ホームページにて公表する。

4 今後の方針・予定について

- (1) 新たに見えてきたことについて庁内共有を図りながら、子どもたちのレジリエンス向上や、健康増進に効果が見込まれる支援策の更なる充実に繋げていく。
- (2) 今年度の調査は、令和7年10月に小学2年生を対象に実施予定（昨年度の小学1年生を継続調査）。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年4月24日

件 名	令和7年度の産後ケア事業における新規・拡充について		
所管部課名	衛生部保健予防課		
内 容	令和7年度の産後ケア事業の新規・拡充について以下のとおり報告する。		
	1 宿泊型（医療機関型）産後ケアの拡充について 区内で分娩可能な産科医療機関において、産後ケア事業への協力を依頼しているところ、新たに以下の医療機関を追加する。 （1）追加する医療機関 ① 待木医院（西竹の塚2丁目） 新規 ② 東京女子医科大学附属足立医療センター（江北4丁目） 新規 （2）施設一覧		
	No.	施設名称	住 所
			区 の 事 業 開 始 日
	1	待木医院 新規	足立区西竹の塚 2-13-17
	2	東京女子医科大学附属 足立医療センター 新規	足立区江北 4-33-1
	3	横川レディースクリニック	足立区保木間 1-22-15
	4	長 門 ク リ ニ ッ ク	足立区中川 2-5-8
	5	綾 瀬 産 後 ケ ア	葛飾区小菅 4-8-10
	6	東京かつしか赤十字 母子医療センター	葛飾区新宿 3-7-1
	7	スワンレディースクリニック	北区王子 4-27-7
	8	東京リバーサイド病院	荒川区南千住 8-4-4
	9	東都文京病院	文京区湯島 3-5-7
	※ 利用対象や自己負担額の変更なし。		
	2 デイサービス型（医療機関・日帰り型）産後ケアの拡充について 既に宿泊型産後ケアを実施済みの産後ケア施設において、デイサービス型（日帰り型）の開始に向け調整している。		

(1) 追加する医療機関

① 長門クリニック（中川2丁目）**新規**

(2) 施設一覧

No.	施設名称	住所	区の事業 開始日
1	長門クリニック 新規	足立区中川 2-5-8	R7年6月1日 (予定)
2	綾瀬産後ケア	葛飾区小菅 4-8-10	R4年4月1日

※ 利用対象や自己負担額の変更なし。

3 「すこやかプラザ あだち」におけるデイサービス型産後ケアの事業開始について

4月21日開設予定の「すこやかプラザ あだち」においてデイサービス型産後ケアを開始する。**新規**

(1) 対象

産後5か月未満の産婦と子ども

(2) 自己負担額

500円

(3) 事業者

NPO法人 子育てパレット

(4) 施設一覧

No.	施設名称	住所	区の事業 開始日
1	すこやかプラザ あだち 新規	足立区江北 5-14-1	R7年5月2日 (予定)
2	オハナ マタニティ&ベビーハウス Ohana	足立区梅島 3-4-8 うめじまKSビル 2階	R2年9月1日

4 訪問型産後ケアの事業開始について **新規**

外出が困難な母親の心身ケア、乳房ケア及び育児指導のため、助産師の家庭訪問による訪問型産後ケアを開始する。なお、流産・死産を経験した女性の心身ケアについても対象とする。

(1) 予定している訪問事業者

公益社団法人 東京都助産師会 葛飾・足立地区分会に所属する足立区内助産所または助産師

5名（4月1日現在）

(2) 事業開始日

4月1日

	(3) 対 象 産後1年未満の産婦と子ども (4) 自己負担額 2,000円（生活保護世帯・非課税世帯は無料） ※ 多胎児の場合は、ひとりあたり500円増額あり (5) 利用期間 医療機関型（宿泊型・日帰り型）の産後ケアを含めた7日以内 5 今後の方針 (1) 新規施設などの産後ケアの情報については、あだち広報・区ホームページ・SNS等で周知していく。 (2) 区医師会へ情報提供していく。
--	---